

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.197

2022. 3. 1

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

危険すぎる自民党憲法草案

9条を変えるのはとんでもない！軍事費増強よりコロナ対策を

～もりおか北部地域のち・平和を守る市民懇談会つどい開催～

9条の会、医療生協、新婦人の会で作る盛岡北部地域平和いのちを守る懇談会では、12月19日に「危ない自民党の改憲草案！学習懇談会」を開催、35人が参加しました。

講師の重松公司氏（松園9条の会世話人、元岩手大教育学部教授）は、日本国憲法と自民党憲法草案と比較して「憲法の平和主義はアメリカとともに日本を戦争する国にすることは相いれない。改憲勢力は台湾有事をあまり、中国とアメリカの軍事衝突に日本も参戦すべき、北朝鮮のミサイル開発を口実に敵基地攻撃能力を保持すべきの主張をさかんに振りまいている」と主張、「いま憲法を守り、生かす行動は、正念場に来ています」と呼びかけました。

学習会後の交流会では、選挙後の岸田首相の「改憲論議をすすめる」発言の強まりと憲法調査会での自衛隊明記、緊急事態宣言条項の創設などの改憲議論を加速させる動きに警戒するの発言や、「草の根からの運動」を急速に強めることの大切さが語られました。また、青年から「もっと様々な機会とらえ、青年に飛び込んで憲法を知らせてほしい」の発言があり、暖かい拍手が送られました。

最後に、正しい人づくりや格差解消、気候危機の問題など、様々な取り組みを進めながら、改憲を許さず参院選に向け頑張りましょう、と結びました（小林絢一・伊藤直子）



「憲法を変えて『戦争のボタン』を押しますか？」

—市民アクション岩手の会新署名スタート学習集会開催—

2月20日、オンラインで日本体育大学教授で九条の会世話人の清水雅彦氏を講師に、新署名スタート学習集会を会場85人＋当日配信視聴35人の参加で開催しました。

清水氏は、日本がコロナ感染拡大に対応できないのは、自民党政権が保健所削減や医師数抑制などの新自由主義政策を長年すすめてきたからだを指摘。コロナ対応のために緊急事態条項を加える改憲をすすめている自民党の主張はふざけていると批判しました。また、岸田首相は安倍元首相に同調するだけでなく、敵基地攻撃能力保有の検討まで表明したとして、参院選までの改憲発議を阻止し、市民と野党の共闘を発展させて参院選で改憲勢力を少数に追い込もうと訴えました。

参加者からは、「生活のあらゆるところに憲法がいきっている大切にいかしたい」「やはり改憲はやめさせなければ」「話が分かりやすく参加してよかった。大満足」などの感想が出されました。

<市民アクション岩手の会幹事団体からのおもな提起>

・岩手版署名の推進：（目標10万筆）と署名の全戸配布（配布目標数3万枚。切手代不要の返信用封筒も活用）

・学習・集会・イベント：今回の2月20日学習集会への参加、YouTube見逃し配信や

DVDの活用。5・3憲法集会inいわての開催、映画「戦争の足跡を追って～北上・和賀の十五年戦争～」上映推進（盛岡上映会は3月27日）

・情宣行動、19日デモやスタンディングなどのアピールの継続



見逃し配信⇒ <https://youtu.be/I4RRI7PPZ6E>

※DVDも作成予定。ご希望の方は岩手県生協連まで。

<お知らせ> ※いずれも、お問い合わせ・ご注文は岩手県生協連まで

①「戦争の足跡を追って～北上・和賀の十五年戦争～」(106分) 盛岡上映会

◇3月27日(日) 10:00～、14:00～
 (どちらも終了後に、映画に登場する川島茂裕氏のトーク実施)
 ◇盛岡市アイーナ 7階 小田島組☆ほ～る
 ◇前売: 500円(当日700円) 大学生以下無料
 プレイガイド: 県民会館、いわて生協、プラザおでって



②全国市民アクション作成宣伝ツールをセット料金のみでお譲りします!

横断幕1枚・のぼり2枚・ポスター3枚が1セットで2,000円です。



③市民アクション岩手の会で岩手版署名用紙を作成⇒全戸配布用返信用封筒も活用下さい

7月の参院選までに改憲を許してはならないという世論を高めるためにも、6月までの取り組みを第1の山場に集めます。また、**地域での全戸配布も進めましょう。**切手不要の返信用封筒(宛先:岩手県生協連)を新署名に添付して配布するなど、各団体の工夫をお願いします。署名用紙や封筒の注文は岩手県生協連まで。

④「5・3憲法集会inいわて」開催

5月3日(火) 13:30～ 岩手教育会館多目的ホール 講師:伊藤千尋さん(ジャーナリスト)
 ※集会後ピースパレード予定。

コラム — 一米特殊部隊 台湾で訓練 米誌報道—秘密裡、中国反発—

2021年10月9日報道。「米誌ウォールストリート電子版は、米軍特殊部隊と海兵隊が過去少なくとも1年間、台湾で秘密裏に台湾軍部隊等の訓練を行っている」と複数の米当局者の話として報じた。これまで米軍部隊の台湾派遣を米当局者が認めた事はなかったとしている。…中国外務省の副報道局長は8日の記者会見で『米国は台湾への武器売却と米台の軍事的な結びつきをやめるべきだ』と反発、主権と領土を守るため必要な措置を取ると警告した。

台湾は日清戦争後50年間日本の植民地にされたあと、第二次世界大戦後のポツダム宣言に基づき中国に返還、また中華人民共和国の国連加盟により、さらに‘70年代の米中国交正常化により、台湾は中国の領土であること、中国は一つであることが確認されて来ているものであります。加えて’72年の日中国交正常化でもこのことはしっかりと確認されています。日本国民は、この事実をしっかりと把握しておくことが必要です。

そうであるなら、中国外務省の「反発」は当然の事ではないでしょうか。国際社会と日本国民に今必要なことは米国政府の「非民主的、非平和的」な側面に対してはその「非」を諫める「声」をあげることであります。コラム子は昨年10月以来注視して来ましたが「声」が上がりませんでした。米国は「民主主義国だから」と見過ごしておいてはいけないではないでしょうか。「声」を上げる必要があると思います。(T)

「3月の街宣署名行動」

3月9日(水)12:30～13:00 盛岡市大通・野村証券前

「憲法改悪を許さない全国署名」を呼びかけ、人との距離を保って宣伝を中心に行います。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。